

【教育活動の名称】 <総合的な探究の時間>研究のための「興味・関心探し」

【学校名】 滋賀県立 河瀬高等学校

1 本校の概要

本校は彦根市にある中高一貫校である。高校はすべて普通科のクラスで、5クラス×3学年の計15クラスで構成されている。

校訓は「志成」。「志有る者、事ついに成る」を意味する。目指す生徒像は、「校訓「志成」のもと自主的・自律的に考え行動するとともに、視野を地域から世界へ広げ、何事に対しても意欲を持って取り組める心豊かな生徒」である。

2 取り組んだ内容

総合的な探究の時間の取組内容

1年生の取組は「①興味・関心事についての知識をインプットする学び」と「②興味・関心に応じたテーマを設定し研究する個人探究」の主に2種類に分けられる。また年間を通じて、「読書」を中心に学習を進めるため、「ビブリア探究」と題している。

「ビブリア探究」

目標：『自分の興味・関心を深掘りし、「なりたい自分」を発見する』

読書を通じて、興味・関心のある分野の大人と対話し、人生と結びつける学びに出会う。

探究の過程で、自己の学びが社会にどのような良い影響を与えるのか認識し、今後の進路選択や学びへの姿勢を改めて考える機会にする。

①知識をインプット

研究に必要な資料を自分で探し出せるよう、まずは「図書館分類学習」から始まる。図書館の図書分類の基本である「日本十進分類法」について「ミニミニ図書館の作成」や「クイズラリー」などを通して、理解を深める。

その後、味見読書やあらまし読み等で興味・関心がある分野の本を試し読みし、夏休み課題「本の紹介ポスター」の作成に取り組む。「本の紹介ポスター」では、2冊のノンフィクション本を読み、その内容や2冊の本から導き出した自分の考え等を記載する。ポスターの内容は夏休み明けの発表会にて発表する。

②個人研究

前半部分の取組(本の紹介ポスター)等をもとに、どんな内容で研究したいかを各自考え、研究計画書を作成する。研究した内容はポスターに記載し、3学期の発表会で発表する。

研究計画書の内容

研究テーマ(#キーワード)、問い、基礎資料(問いを作る際に参考にした資料)、研究の動機、研究の意義、研究内容の目次、参考文献として活用予定の資料(本を必ず1冊以上記載)、(アンケートやインタビュー、実験などの活動予定)

弘済会助成金で3種類のシリーズ本を購入した。研究テーマや問いを考えるととき等の参考文献として、下記の3種類のシリーズ本を選んだ。

『図解眠れなくなるほど面白いシリーズ』(日本文芸社)

『サクッとわかるビジネス教養』(新星出版社)

『イラスト&図解 知識ゼロでも楽しく読める!』(西東社)

研究計画書の作成期間は上記のシリーズ本114冊(既に配架していた本も含む)を図書館の机に面置きし、全クラスの生徒が手に取れる時間を作った。その後、探究学習のコーナーに配架した。



3 活動の成果

様々なトピックごとに1冊が構成されているシリーズ本を提供できたので、できるだけ多くの生徒の興味・関心に対応することができ、研究に役立てることができた。特に研究内容を具体的に決めるための参考資料として借りる生徒が多かった。

今回配架したシリーズ本は授業と関係なく、借りる生徒も見受けられる。今後は探究学習以外でも生徒が利用する機会を増やしていきたい。